

漁海況速報

2-No. 21

茨城県水産試験場
漁業無線局

令和2年 8月14日～ 8月20日

電話 (029) 273-7911

FAX (029) 270-1480

<http://www.pref.ibaraki.jp/soshiki/nourinsuisan/suishi/index.html>

【海況図説明】

1. 黒潮は、犬吠埼の南東30マイル付近を北東に流れ、 $36^{\circ}30'N$ $142^{\circ}30'E$ 付近を流去している。
2. 本県沿岸域は、 $23\sim 25^{\circ}C$ 台の水温となっている。

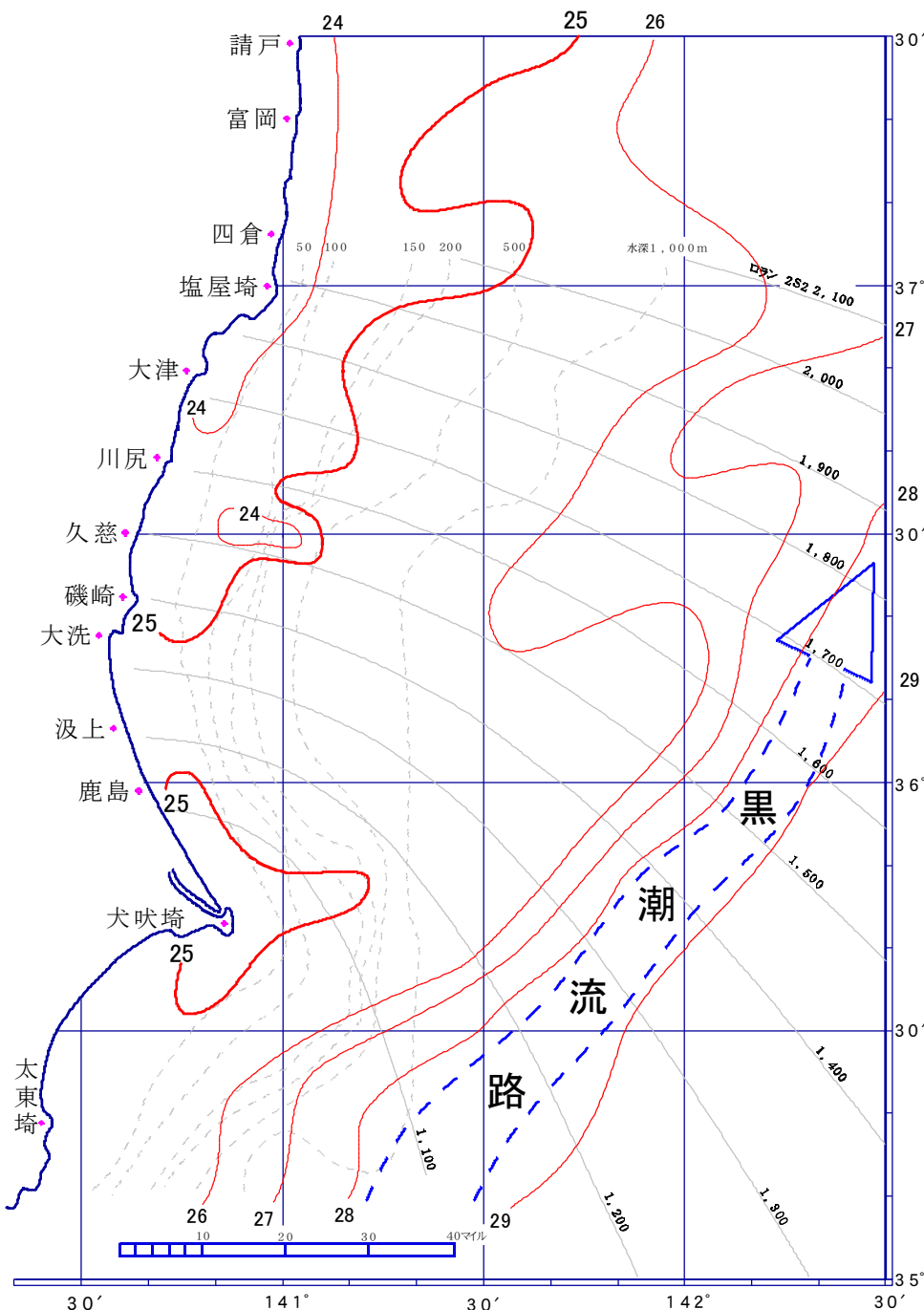
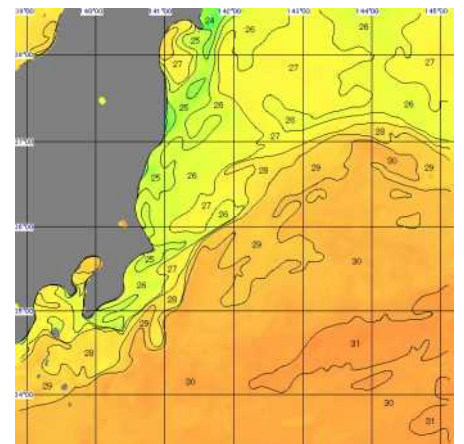
那珂湊定地水温 (°C)

日	令和2	令和元	平年
8/14	20.6	22.4	21.9
15	20.9	欠測	22.0
16	21.2	22.9	22.1
17	21.7	22.5	22.2
18	23.2	欠測	22.3
19	22.9	22.9	22.3
20	23.6	23.2	22.4
平均	22.0	22.8	22.2

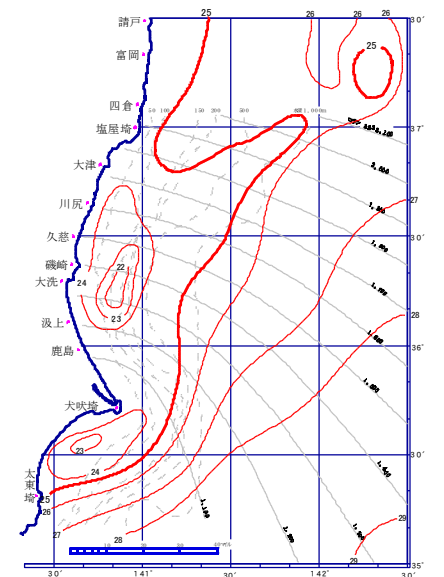
30年平均: 1981~2010年

令和2年 8月14日～ 8月20日

【1週間合成衛星画像】



【海況図】



令和 元年 8月16日～ 8月22日

【海況図】

漁況の特徴

2 - No. 2 1

属地、単位＝四捨五入

8/13～8/19

魚種	漁法	組合名	水揚量 kg	平均単価	水揚金額 円	延隻数
シラス	船曳網	大津	15,041	418	6,284,146	67
		久慈町	12,581	328	4,132,467	21
		那珂湊	3,500	341	1,193,880	10
		大洗町	72,629	360	26,136,975	120
		はさき	23,569	477	11,240,480	28
ヒラメ	固定式刺網	平潟	2	660	1,188	
		那珂湊	6	1,692	9,305	
	"	大洗町	53	1,509	79,685	
		久慈町	8	710	5,540	
	その他刺網	久慈町	5	1,320	6,730	
その他釣り	那珂湊	89	1,459	129,885		
イシガレイ	固定式刺網	大洗町	3	800	2,240	
マコガレイ	固定式刺網	大洗町	1	1,600	1,920	
イシモチ	固定式刺網	大洗町	4	521	1,980	
スズキ	固定式刺網	平潟	2	1,590	3,498	
アイナメ	その他釣り	那珂湊	1	1,200	1,200	
イセエビ	固定式刺網	平潟	14	1,186	16,600	
		大津	21	2,143	44,780	
	"	那珂湊	39	1,667	64,200	
		大洗町	7	1,929	13,500	
	その他刺網	久慈町	4	2,581	11,100	
マダコ	固定式刺網	大洗町	2	1,100	2,530	
ホウボウ	固定式刺網	大洗町	8	770	6,390	
ハマグリ	貝桁網	はさき	10,077	587	5,913,136	
ブリ類	その他釣り	久慈町	146	80	11,690	
		那珂湊	22	281	6,200	

◎ まき網 (漁獲は1投網当り)

マイワシ・・・八戸の北北東20マイル付近で4トン(1ヶ統)の漁獲。
 サバ・・・八戸の北20マイル付近から北東20マイル付近で1～10トンの漁獲。
 イカ・・・八戸の北20マイル付近から北東20マイル付近で1～21トンの漁獲。

◎ 小型船 (漁獲は1隻当り)

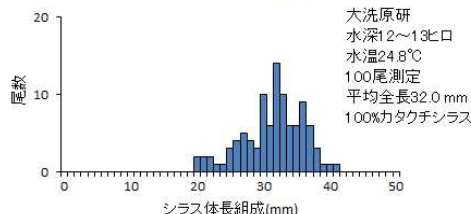
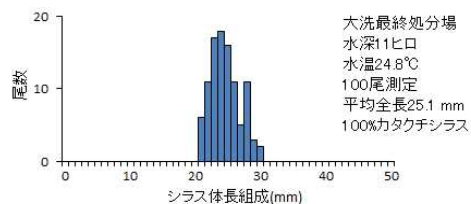
◇船曳網
 本ジラス・・・大洗地先で5kg(1隻)の漁獲。
 シラス・・・大津地先から高戸地先で49～828kg、日立地先で192～1,040kg、那珂湊地先から鹿島地先で22～1,040kg、波崎地先で496～1,379kgの漁獲。

◇曳釣り
 那珂湊地先から大洗地先でサワラ2～6kg、タチウオ1～3kg、那珂湊地先から鉾田地先でヒラメ1～20kg、マゴチ1～20kg、イナダ1～10kgの漁獲。

◇手釣り
 平潟地先でイセエビ3～5kg、平潟地先から磯原地先でヒラメ3～15kgの漁獲。

☆ シラスの漁獲状況(船曳網)

8月上旬に一時漁獲量が減少しましたが、その後、益明ナ17～20日の4日間で、県内合計約260トンのシラスが水揚げされ好漁となっています。
 8月11日に大洗漁協に水揚げされたシラスを測定した結果を以下に示します。平均全長25.1mmの小型のシラスも見られました。



注 延隻数:銘柄別隻数

茨城県水産試験場漁業無線局

春シラス漁の結果と秋シラス漁の見通し

(1) 春シラス漁 (2~7月) の結果

今期の春シラス漁の主要5港(大津, 久慈, 大洗, 鹿島, 波崎)合計水揚量は, 速報値で2,533トンとなり, 前年(1,664トン), 過去5年平均(1,752トン)を大きく上回りました(図1)。

4月以降の1日1隻あたりの漁獲量(kg)は, 5月25日から大きく増加し好漁が続きました(図2)。マシラス(マイワシシラス)は, 本県で割合が増加した平成29年以降では少ない年となりました。

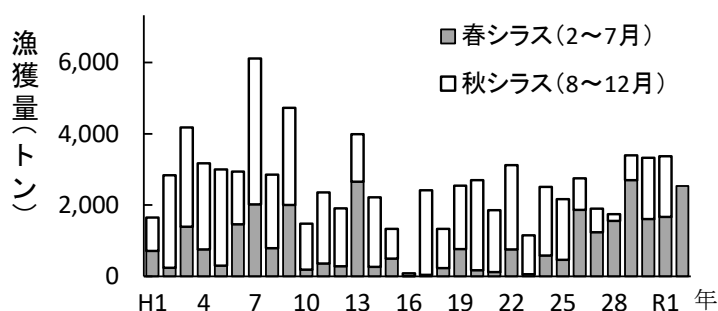


図1: シラス年別漁獲量の推移

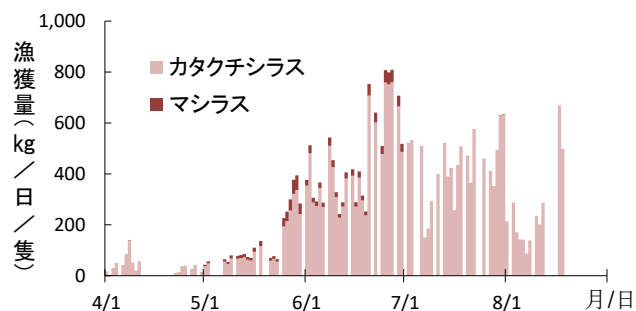


図2: シラス日別漁獲量(CPUE)の推移(8/18まで)

(2) 秋シラス漁 (8~12月) の見通し

①カタクチイワシの卵仔稚魚の状況

8月5~7日に本県沖(会瀬~犬吠埼)において実施した卵稚仔採集調査では, カタクチイワシ卵(0.6粒/曳網), 仔魚(18.5尾/曳網)であり, 卵で過去5年平均(1.7粒/曳網)を下回り, 仔魚は過去5年平均(1.8尾/曳網)を上回りました。

②海況の現況と見通し

8月5~7日の観測調査時では沿岸域への顕著な暖水波及はなく, 表層水温は「やや低め~平年並み」となっています。9月の水温は表層で「平年並み」, 下層で「やや低め~平年並み」となる予測です(詳細は「水産の窓令和2年-N0.12」)。

③まとめ

8月は18日までに県内合計で約350トンの漁獲がありました(図2)。近年では, 秋シラス期(8~12月)のうち, 特に8~9月の漁獲が主体となっています(図3)。

カタクチイワシの資源量や本県沖での卵・仔稚魚量と漁獲量の関係は現在のところ不明瞭ですが, 7月の沿岸水温が高いと8~9月のシラス漁獲量が減少する傾向が見られます(図4)。今年7月の水温は, 漁獲量と水温の関係を調べたH25~R1年の平均水温と比較して低い値でした(図4)。

以上のことから, 今年の秋シラス漁(8~12月合計)は, 過去5年平均(996トン)を上回るが, 好漁となった前年(1,706トン)を下回る見通しです。

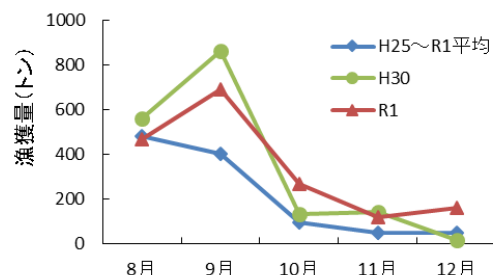


図3: 県内合計漁獲量の月別推移

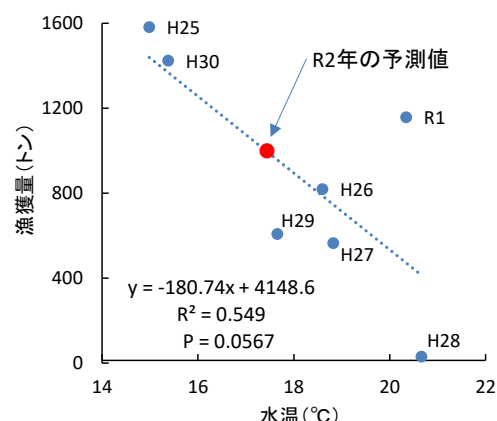


図4: 7月沿岸水温と8~9月県内合計漁獲量の関係(H25~R1年)

(回遊性資源部 高橋 佑太郎)

【次号予告】R2.9.4発行の水産の窓は, 「9月の海洋観測の結果」を予定しています。